

## 平成18年度 施策評価表

所属 11210000

子育て支援部 子育て支援課

施策	0619 子どもの健やかな育成の支援				
区分					
対象	子育て家庭と子ども				
施策意図	子どもの権利・利益が守られ子どもの成長が尊重されている				
現状と課題	児童虐待や非行、子どもを狙った犯罪の多発など、子どもの育ちをめぐる状況が変化しており、子どもを地域のなかで安全に健やかに育てることは区民の関心事である。そのため、「わくわくチャレンジ広場」など児童健全育成事業を充実させるとともに、児童虐待対策やひとり親家庭の自立支援など、子どもや家庭への支援を強化する必要がある。				
成果指標	成果指標1：中度以上の児童虐待相談率（中度以上の児童虐待相談÷虐待相談件数×100） 目標：21年度までに46.1% 成果指標2：子どもたちが健やかに育っていると思う区民の割合（マーケティング調査） 目標：21年度までに44.1%				
目標達成状況	成果指標1 [ % ]	予定	平成17年度 47.70	平成18年度 47.50	
		実績	41.30		
	成果指標2 [ % ]	予定	43.60	43.70	
		実績	51.20		
	成果指標3 [ ]	予定			
		実績			
	トータルコスト (千円)	予定		2,167,927	
		実績	1,951,553		
施策の位置付け	区の関与度合	区と住民等との協働。子どもが健やかに育成される社会の実現は、保護者、地域社会、行政が一体となって取り組むべき課題であり、区の果たす役割は大きい。			
	区民ニーズへの貢献	大きい。ワクワクチャレンジ広場の実施により、地域と協働して子どもの健全育成を図っている。また、子ども家庭支援センターによる児童相談の充実を図っている。			
	成果向上の必要性	向上必要。児童虐待の社会問題化、ひとり親家庭の増加という状況のなか、これらの対策は一層強化する必要がある。			
	成果向上の容易性	容易ではない。家庭や地域の養育力の低下など、子どもを取り巻く状況が変化する中であっても、関係団体や地域とも協力して対策を講じる必要がある。			
位置付け総合評価	拡充。育児不安や児童虐待、ひとり親家庭の増加など、子どもと家庭をめぐる状況は大きく変化している。これらの課題に的確に対応するため、総合的な支援を行う拠点として（仮称）子ども総合センターの整備を進める。また、子どもの健やかな育ちを支援するために実施している「ワクワクチャレンジ広場」については、学校との連携強化を進めながら、事業内容の一層の充実を図る必要がある。				
施策目的達成のための事務事業	事業コード	名 称		トータルコスト(千円)	総合評価
	061903	学校開放型児童健全育成モデル事業（わくわくチャレンジ広場）（		230,105	6
	061904	子ども家庭支援センター管理運営		100,290	6
	061908	母子相談		14,360	6
	061901	児童福祉施設入所児童レクリエーション費助成		1,361	5
	061905	母子生活支援施設管理運営		80,238	5
	061906	私立母子生活支援施設措置		55,011	5
	061907	母子等緊急一時保護		2,440	5
	061902	児童館管理運営		1,467,748	4

【総合評価】6=拡充/5=継続/4=改善/3=再構築/2=縮小/1=廃止・休止/0=今回評価なし

# コスト分析表

年 度 平成18年度

所 属 11210000

施 策 0619

子育て支援部 子育て支援課

子どもの健やかな育成の支援

期 間 平成17年度 ~ 平成18年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		47,124		
		都道府県支出金	(2)		44,404		
		地方債	(3)		0		
		その他	(4)		71,681		
		一般財源	(5)		1,886,205		
	直接費	事業費	(6)		769,779		
	職員人件費	人件費	(7)		1,121,697		
		再雇用職員分	(8)		2,700		
		(職員数：賦課)	(9)		130.81		
		(職員数：配賦)	(10)				
		職員数合計(9)+(10)	(11)		130.81		
	調整額	間接費	(12)		155,238		
		(加算)減価償却費	(13)		2,134		
		(加算)金利	(14)		0		
		(加算)退職給与引当	(15)		116,379		
		(控除)コスト対象外	(16)		0		
		(控除)雑収入	(17)		0		
		調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)		118,513		
		トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)		2,167,927		
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	47,536			
		都道府県支出金	(21)	44,655			
		地方債	(22)	0			
		その他	(23)	95,183			
		一般財源	(24)	1,648,942			
	直接費	事業費	(25)	657,034			
	職員人件費	人件費	(26)	1,021,244			
		再雇用職員分	(27)	2,800			
		(職員数：賦課)	(28)	126.48			
		(職員数：配賦)	(29)				
		職員数合計(28)+(29)	(30)	126.48			
	調整額	間接費	(31)	155,238			
		(加算)減価償却費	(32)	1,765			
		(加算)金利	(33)	180			
		(加算)退職給与引当	(34)	113,292			
		(控除)コスト対象外	(35)	0			
		(控除)雑収入	(36)	0			
		調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	115,237			
		トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	1,951,553			

施策名	子どもの健やかな育成の支援
-----	---------------

担当課： 子育て支援課

**施策の達成状況**

【達成度評価】  
 子育て支援を区政の重要課題として総合的に進める立場から、先駆的子ども家庭支援センターの設置による児童虐待対策の充実や地域が主体となって子どもを健やかに育てることを目的とする「わくわくチャレンジ広場」事業の実施など、積極的に施策を推進してきている。しかし、要保護児童対策と児童健全育成を中心に、さらに強化が必要である。

**構成事務事業の施策成果貢献度** (事務事業を相対評価し、該当する位置に記載)

事務事業の成果向上の余地	大	子ども家庭支援センター管理運営	学校開放型児童健全育成モデル事業	
	中	母子相談	児童館管理運営	
	小	児童福祉施設入所児童レクレーション費助成	母子生活支援施設管理運営 私立母子生活支援施設措置 母子等緊急一時保護	
		小	中	大
施策成果への貢献度				

**構成事務事業の次年度方向性** (事務事業を相対評価し、該当する位置に記載)

事務事業の成果の増減方向	向上		学校開放型児童健全育成モデル事業 母子相談 子ども家庭支援センター管理運営	
	維持	母子生活支援施設管理運営 私立母子生活支援施設措置 母子等緊急一時保護 児童福祉施設入所児童レクレーション費助成 児童館管理運営		
	減少			
		減少	維持	増加
事務事業のコストの増減				

【次年度方向性の考え方】  
 ワクワクチャレンジ広場の事業の安定化と充実を図るとともに、母子相談については、自立支援を充実する。